

消防団員の運転免許取得に対策を

答 全国的な流れを見て判断



南里 正秀 議員

問 今年2月に宇美断層が「主要活断層帯」に追加された。

また、北朝鮮の弾道ミサイル発射による脅威が増している。

こうした情勢の変化に応じて「地域防災計画」を見直す必要があるのでは。

答 総務課長 防災対策の見直しは必要と考えており、今後、作業を進めていきたい。

問 災害発生時は、土木業者、管工事業者等町内業者に頼らざるを得ない。

町内業者育成のための優遇措置は。

答 課長 災害復旧等緊急工事に関する協定を結んでいる町内業者には、競争入札において優先的に指名する形で優遇措置をとっている。

問 今年3月に道路交通过法が改正され、4分団や9分団の車両は「準中型免許」が必要となつた。免許を取得していない団員は。

答 課長 4分団5名、9分団4名。その他オートマチック限定等で合計16名が免許を所持していない。

問 団員が消防車を運転できない状況は一刻も早く解消すべきではないか。

答 課長 免許取得の補助制度をつくっている市町村もあるが、隣では事例がなく、全国的な流れを鑑みて、今後の対策につなげる。

問 外国人消防団員の加入を受け入れる考えは。

答 課長 外国人を含め、今後、消防団員確保について研究したい。

問 今年4月から日本赤十字社の防災事業として赤十字防災セミナーが展開されている。自治会や地域コミュニティ程度程度の範囲の住民を対象に実施。

地域住民に「自助」「共助」の大切さを知ってもらう、防災意識を高めるいい機会では。

答 課長 赤十字防災セミナーについては十分活用したい。

問 青少年赤十字活動（JRC）が宇美東中と宇美東小で実施されている。全小中学校に取り入れる考えは。

答 学校教育課長 JRC加盟の有無を問わず、各学校において、命と健康を守る防災教育を進めていきたい。



宇美東中学校のJRC登録式



飛賀 貴夫 議員

改めて最終処分場 2期工事について質す

答 誠意ある説明を行う

問 平成26年9月議会
で審議可決した議案の
最終処分場2期工事請
負契約の変更について
再度質問する。

平成28年3月議会の
質問で、「約1,700
万円の増額があった
か」の質問で「変更が
あった」との答弁だが、
間違いないか。

答 環境課長 間違
ない。

問 議案の変更概要
は、種別ごとの増減が
あったが、85もの種別
ごとの説明は煩雑であ
ると判断し、大分類5
工種を説明。

合計で約1,530万
円の減額になったとい
うことで間違いないか。

答 課長 間違いない。

問 約1,700万円
の増額があり、増減が
あって請負契約が約
1,530万円の減額
であれば、約1,70
0万円の増額に見合っ
た減額分を説明すべき

では。

答 課長 80を超える
種別のうち75種別で変
更し、その一つとして
約1,700万円の増
があった。

それ以外の74種別
についての説明は、非常
に膨大な時間が必要
で、増減を説明するこ
とは、煩雑と判断し比
較的大きな変更の5工
種について説明した。

問 5工種の金額はほ
んど何百万円台で、
合計約1,530万円
減額なのに、増額の約
1,700万円に対し
ての減額分を示すこと
が煩雑になることが、
理解できない。

答 課長 結果的に約
1,700万円の増、
その分について詳細な
説明をしてない。
町の判断で、主だっ
たものを説明した。

問 大きな額なので、
ちゃんと説明するべき
でないか。

答 課長 膨大な時間
がかかるので、説明は
控えさせていたくださ
い。

問 最終処分場の件
で、町民の方が、数回
にわたり公文書の開示
請求や担当課窓口での
指摘をされ、疑念を持
たれているが、何が問

題なのか。

答 課長 町として
は、特に問題と考えて
いない。
今後も住民の方が疑
問を感じられるなら、
誠意ある説明を行い、
ご理解いただけるよう
努めたい。



最終処分場